

## 「バルセロナ宣言」

下記に署名する我々、全世界の多種多様な人々の政治的代表者は、全ての男女および子供が疾病の被害に悩まされない生活を送ることができなければならないことを認識し、ここに以下の通り宣言する。

1. 結核(TB)は、人類史上他のどの感染症よりも多数の人々を死に追いやっており、年間 150 万人もの人々の死亡原因であり続け、最も脆弱な人々がよりその脅威にさらされているという事実、およびこれへの対応が国際的な政治的優先事項でなければならないこと
2. 現在の TB 制圧の進捗の速度はあまりに緩慢で、このままではこの病気は今後何世紀にもわたり世界中の幾百万人も市民の社会的・経済的安寧に対する脅威であり続けること、またこの病気の対策の向上を加速させることが万人の為であるということが、すべての政府によって認識されるべきこと
3. 薬剤耐性結核は、この病気に対する適切な対策の全面的な失敗であることを示しており、そのために患者はしばしば耐えがたい治療の負担や、数百万の命という重大な犠牲を払った上に対策の進捗が挫折するほどの脅威となっていること、またこれは緊急対策の重点でなければならないこと
4. 最新の結核治療薬は不十分であること、ワクチンおよび診断も不十分であること、また製薬開発の商用市場が結核患者を失望させていること
5. 結核は、その病気自体の激しい健康障害、厳しい治療負担、並びに差別や恐怖が組み合わさった三重の負担を患者に強いていること、またこれらの問題は国の健康対策として全体的な論点から取り組まれなければならないこと
6. HIV や糖尿病などとの結核の同時感染は、疾病蔓延の低減努力に水をさし、結核に関連した死亡率および疾病率を上昇させて、患者が治療中に直面する難題を尚さら困難にしていること、またヘルスケアシステムは、鍵となる同時感染症対策を統合したものにするべきであること

このため、我々はあらゆる手段により、自らの政府からの行動を持続させ結核と戦うための資源を、国内外を問わず確保するとともに、政治的アジェンダとして本疾病対策の優先順位を高めることを要求することを約束する。具体的にいえば、

7. どのような人であるか、どこに住んでいるか、支払い能力があるかないかを問わず、すべての患者は、迅速かつ正確な診断並びに良質の治療を利用できなければならないこと、また結核の診断や治療のためにその家族が貧困に陥ることが決してないように要求すること
8. 公衆衛生上の必要性が大きく、しかも絶対的に不足している新薬、新しい診断法並びに新型ワクチンの今の開発の進展を支援し向上させる研究開発モデルを追求し、かつ、新しい治療がそれを必要とする患者に利用・入手しやすくなることを保証すること
9. 結核の予防や患者発見、治療のあらゆる面において、地域および市民社会グループの関与を支援、差別を撃退し、患者が結核の流行に対してより大きな声をあげられるようにすることで患者や発病しやすい人々をこの病気の対策の中心に据えるよう主張すること

さらに、この趣旨において、我々は WHO（世界保健機関）、UNITAID（航空券連帯税）、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、ストップ結核パートナーシップ、国際結核呼吸器疾患予防連合、国連エイズ合同計画（UNAIDS）を含めた公的機関、ならびに世界中の非政府組織と協同し、政治的、地理的な違いを乗り越え、自国の内外にこの世代のうちに結核流行にとどめをさすための関与を確立することを求めつつ、新しい国際的な国会議員会合を設立し、結核という感染症にさらに効果的な対応を厳しく迫ることに合意する。